

スポーツと教育2018

ワークショップ

ブラインドサッカーから学ぶ 「障がい者スポーツ」

日常とは異なる視覚情報がない環境を体験することで、障がい者スポーツや共生社会について考える貴重な時間

2020年東京オリンピック・パラリンピックまで残すところ2年となりました。競技日程の決定やボランティアの募集開始など、オリンピック・パラリンピックに関するニュースが増え、日本全体が2020年に向けて盛り上がりつつあります。

玉川大学教育学部健康教育研究センターは、これまで「スポーツと教育」というテーマで、シンポジウムやワークショップを開催してきました。昨年は、ゴールボール日本代表選手である小林裕史選手と川嶋悠太選手をお招きし、ゴールボールの体験会を実施しました。日頃、障がい者スポーツに触れ合う機会がない学生にとって、貴重な体験会となりました。

今年度は、障がい者スポーツである視覚障がい者5人制サッカーの体験会を開催いたします。5人制サッカーは、別名ブラインドサッカーと呼ばれ、視覚障がい者が音の鳴るボールとガイドの指示を頼りにプレーをします。参加者が、日常とは異なる視覚情報がない環境を体験することで、障がい者スポーツや共生社会についてお互いに考える貴重な時間になることを願っております。



よし はら しげ お
葭原 滋男 氏

所属：松戸・乃木坂ユナイテッド

視覚障がい者スポーツ界のスーパーアスリートとして知られ、1996年のアトランタ・パラリンピックでは走り高跳びで銅メダルを獲得。2000年のシドニー・パラリンピックでは自転車競技の1kmタイムトライアルで世界新記録(当時)をマークし金メダル、スプリントで銀メダルを獲得。2004年のアテネ・パラリンピックでは自転車競技・スプリントで再び銀メダルを獲得している。2002年よりブラインドサッカーを始め、2003年の第2回日本視覚障害者サッカー選手権大会ではMVPを獲得。元ブラインドサッカー日本代表。松戸・乃木坂ユナイテッド所属。現在は、ブラインドサーフィンの普及活動も行っている。

オリンピック メダル獲得履歴

- 金メダル 1個
2000年 シドニー・パラリンピック
1kmTT(優勝・1分4秒950=世界新記録樹立)
- 銀メダル 2個
2000年 シドニー・パラリンピック スプリント(2位)
2004年 アテネ・パラリンピック スプリント(2位)
- 銅メダル 1個
1996年 アトランタ・パラリンピック 走高跳(3位)



©JBFA



たか やま
高山 ゆずり 氏

所属：特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会

日時

平成31年1月12日(土) 10:00~12:30
(開場 9:00)

主催

玉川大学 教育学部 健康教育研究センター

会場

玉川学園 記念体育館

対象

玉川学園 児童・生徒・保護者 および教職員
玉川大学大学生(特に教育学部保健体育専攻学生)

参加費

無料